

【福島県合同輸血療法委員会】

輸血に関するアンケート調査集計結果（2022年度）【2024年6月27日時点】

*参考：【 】内は2021年4月～2022年3月の調査結果

診療所版

1 調査対象施設等

- (1) 調査対象施設：県内の診療所31施設 【36施設】
- (2) 調査対象期間：2022年4月から2023年3月まで
- (3) 調査方法：アンケートへの依頼文書を郵送で送付し、福島県薬務課のホームページよりファイル(Excel形式)でダウンロードし、記入したファイルをメールに添付した形で回収した。対応が困難な場合は、FAX等で回収した。
- (4) 回収率：54.8%（17診療所から回答） 【52.8%（19診療所から回答）】

2 集計結果の概要（項目別）

◎集計結果の報告書を作成するにあたり、診療所名等を公開して良いか 【10診療所（52.6%）】

可：9診療所（52.9%）

I 輸血管理料取得状況について 【該当診療所なし】

0診療所（0.0%）〔管理料Ⅰ：0診療所、管理料Ⅱ：0診療所〕

II I & A取得状況について 【該当診療所なし】

取得済：0診療所（0.0%）

III 輸血療法委員会等について

(1) 輸血療法委員会等の設置数 【3診療所（15.8%）】

2診療所（11.8%）

(2) 輸血療法委員会を設置しない理由（複数回答あり）

15診療所

（指導医がない：5、他の委員会で協議：5、使用がほとんどない：9、その他：0）

(3) 輸血療法委員長の職種

医師（専門科目：泌尿器科1、腎臓内科1）

(4) 輸血療法委員会の開催回数（回/年）

12回/年：1、1回/年：1

(5) -1 認定臨床輸血看護師、アフエレーシスナース、自己血輸血看護師、認定輸血検査技師人数（合計）

認定・臨床輸血看護師：0、認定・アフエレーシスナース：0、認定・自己血輸血看護師：0

認定・輸血検査技師：0、細胞治療認定管理師：0

(5) -2 (5) -1のうち輸血療法委員会参加人数（医療施設数/輸血療法委員会有2施設）

認定臨床輸血看護師：0（0/4） 認定・アフエレーシスナース：0（0/4）

認定・自己血輸血看護師：0（0/4） 認定輸血検査技師：0（0/1）

(6) 血液センター職員のオブザーバー受け入れ状況

なし：9、未回答：8

IV 指針等について

(1) 輸血部門の設置数等（複数回答あり）

輸血部門：1 診療所（5. 9%）【2 診療所（10. 5%）】

}	検査部	0 件
	輸血部	0 件
	薬剤部	0 件
	その他	1 件

血液製剤保管場所（複数回答あり）

}	検査部	7 件
	薬剤部	2 件
	輸血部	0 件
	その他	7 件

(2) 自記温度計、警報装置の設置数等（複数回答あり）

自記温度計：10 診療所（58. 8%）【11 診療所（57. 9%）】

}	記録の頻度	毎日	13 件
		年に1回	0 件
		月に1回	1 件
		週に1回	1 件
		その他	1 件
		未回答	1 件

警報装置：9 診療所（52. 9%）【10 診療所（52. 6%）】

冷蔵庫・冷凍庫の保守点検の頻度 { 毎日 3 件、年に1回 7 件、月に1回 1 件、
週に1回 1 件、その他 3 件、未回答 2 件

(3) 他の管理項目等

1) 運搬容器の設置：3 診療所（17. 6%）【2 診療所（10. 5%）】

2) 輸血用血液製剤と血漿分画製剤の管理の一元化：2 診療所（11. 8%）【4 診療所（21. 1%）】

3) 管理記録簿等：17 診療所（100. 0%）【16 診療所（84. 2%）】

内訳（複数回答有）：コンピュータ管理：0、手書き伝票：12、両方：4、その他：1

(4) 輸血前の感染症検査の実施

全例：8 診療所、一部のみ：4 診療所、行っていない：5 診療所

1) 輸血前の感染症検査項目： HBV 12 件
HCV 12 件
HIV 6 件
HEV 0 件

(5) 輸血前の感染症検査用検体の保管等

全例：4 診療所（23. 5%）、なし：10 診療所（58. 8%）、未回答：3 診療所（17. 6%）

(6) 輸血後の感染症検査の実施

全例：6 診療所、医師の判断による：4 診療所、行っていない：7 診療所

(7) 遡及調査ガイドラインで求められる検査項目の認知（複数回答あり）

HBV：7 診療所（41. 2%）、HCV：6 診療所（35. 3%）、HIV：4 診療所（23. 5%）、
HEV：2 診療所（11. 8%）、知らない：10 診療所（58. 8%）

V 輸血検査および輸血実施について

- (1) 患者血液型検査の二重チェック：6 診療所（35.3%） 【7 診療所（36.8%）】
- (2) 不規則抗体スクリーニング
- 1) 輸血前不規則抗体スクリーニング：14 診療所（82.4%）【14 診療所（73.7%）】
- 2) 間接抗グロブリン試験を含む検査法：12 診療所（70.6%）【9 診療所（47.4%）】
- 3) 陽性となった場合の対応：

{	民間の検査センター	12 診療所
	血液センター	4 診療所
	自施設	1 診療所
- (3) 交差適合試験
- 1) 輸血前交差適合試験：17 診療所（100.0%） 【16 診療所（84.2%）】
- 2) 輸血に先立つ3日以内の検体を用いて実施：17 診療所（100.0%）【16 診療所（84.2%）】
- 3) 間接抗グロブリン試験を含む検査法：12 診療所（70.6%） 【13 診療所（68.4%）】
- 4) コンピュータクロスマッチの実施：4 診療所（23.5%） 【5 診療所（26.3%）】
- 5) 陽性となった場合の対応：

{	民間の検査センター	13 診療所
	血液センター	2 診療所
	自施設	2 診療所
- 6) T&S（タイプアンドスクリーン）の実施：0 診療所（0.0%） 【0 診療所（0.0%）】
- (4) 説明と同意（インフォームド・コンセント）について（複数回答あり）
- 1) インフォームド・コンセントを担当する主な職種：

{	医師	15 診療所
	看護師	2 診療所
- 2) 頻回輸血における同意書の取得頻度：

{	月1回	5 診療所、2～3か月に1回	1 診療所、
	週1回	2 診療所、取らない	1 診療所
	その他	6 診療所	
- (5) 患者認証方法
- 1) ナースステーションにおいて複数名で確認している：15 診療所（88.2%）【17 診療所（89.5%）】
- 2) ベッドサイドで患者本人を確認している：17 診療所（100.0%）【19 診療所（100.0%）】
- 3) 電子照合システム導入：1 診療所（5.9%）【該当診療所なし】
- (6) 経過観察
- 1) 輸血開始後バイタルチェック：

{	開始時・5分・15分・終了後	10 診療所（58.8%）
	開始時・15分	1 診療所（5.9%）
	5分・15分	1 診療所（5.9%）
	15分・終了後	1 診療所（5.9%）
	開始時	2 診療所（11.8%）
	15分	2 診療所（11.8%）

2)バイタルチェックの項目：	体温・血圧・脈拍・酸素飽和度	1	1 診療所 (64.7%)
	体温・血圧・脈拍・酸素飽和度・その他	1	1 診療所 (5.9%)
	体温・血圧・脈拍	3	3 診療所 (17.6%)
	血圧・脈拍・酸素飽和度	1	1 診療所 (5.9%)
	脈拍	1	1 診療所 (5.9%)

3)輸血終了後の継続的な患者観察時間：	30分～1時間	7	7 診療所 (41.2%)
	1時間～2時間	7	7 診療所 (41.2%)
	2時間～3時間	2	2 診療所 (11.8%)
	3時間以上	1	1 診療所 (5.9%)

4)使用済み製剤バッグの保管期間：	保管していない	1	1 診療所 (64.7%)
	輸血翌日	1	1 診療所 (5.9%)
	2～数日間	2	2 診療所 (11.8%)
	1週間以上	3	3 診療所 (17.6%)

VI 輸血用血液製剤使用状況について

血液製剤使用単位数合計 945 単位

- (1) 赤血球製剤の使用量は 923 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、97.7%である。
(2) 血小板製剤の使用量は 0 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は、0.0%である。
(3) 血しょう製剤の使用量は 22 単位で、輸血用血液製剤全体に占める割合は 2.3%である。

VII 輸血用血液製剤廃棄状況について

血液製剤廃棄単位数合計 22 単位 【38 単位】

血液製剤の廃棄率は 2.3%である。 【4.2%】

(1) 赤血球製剤の廃棄量は 18 単位。(廃棄率 1.9%) 【38 単位】

(2) 血小板製剤の廃棄量は 0 単位。(廃棄率 0.0%) 【0 単位】

(3) 血しょう製剤の廃棄量は 4 単位。(廃棄率 15.4%) 【0 単位】

○輸血用血液製剤の在庫状況

輸血用血液製剤在庫有 0 診療所 【0 診療所】

VIII 輸血患者および輸血使用状況について

(1) 年代別及び男女別輸血状況について

輸血患者総数 112 人

}	90歳以上	5人 (4.5%)
	80-89歳	37人 (33.0%)
	70-79歳	30人 (26.8%)
	60-69歳	27人 (24.1%)
	50-59歳	5人 (4.5%)
	40-49歳	5人 (4.5%)
	30-39歳	2人 (1.8%)
	20-29歳	1人 (0.9%)
	10-19歳	0人 (0.0%)
	5-9歳	0人 (0.0%)
0-4歳	0人 (0.0%)	

{ 男性 71人 (63.4%)

{ 女性 41人 (36.6%)

(2) 診療科別輸血状況 (回答医療施設数: 16)

内科全体数	82人
{ 内科:	37人
{ 消化器内科:	1人
{ 循環器内科:	0人
{ 呼吸器内科:	0人
{ 血液内科:	0人
{ その他内科:	44人

外科全体数	0人
{ 外科:	0人
{ 消化器外科:	0人
{ 呼吸器外科:	0人
{ 心臓血管外科:	0人
{ 形成外科:	0人
{ 整形外科:	0人
{ 脳神経外科:	0人
{ その他外科:	0人

その他診療科全体数	21人
{ 小児科:	0人
{ 産婦人科:	3人
{ 泌尿器科:	3人
{ 麻酔・集中治療科:	0人
{ その他:	15人

IX 自己血輸血について

自己血輸血実施診療所: 該当診療所なし (0.0%) 【該当診療所なし (0.0%)】

○貯血式自己血輸血 (液状保存)

実施症例数 (同種血併用例): 0例 (0例) 【0例 (0例)】
採血量 (貯血量): 0単位 【0単位】
使用量 (輸血量): 0単位 【0単位】

○貯血式自己血輸血 (凍結保存)

実施症例数 (同種血併用例): 0例 (0例) 【0例 (0例)】
採血量 (貯血量): 0単位 【0単位】
使用量 (輸血量): 0単位 【0単位】

○回収式自己血輸血

使用量の管理部門での把握:

{ はい	0診療所
{ いいえ	3診療所
{ その他で管理	0診療所
{ 未回答	14診療所

実施症例数 (同種血併用例): 0例 (0例) 【0例 (0例)】
使用量 (輸血量): 0mL 【0mL】

○希釈式自己血輸血

使用量の管理部門での把握	{ <table border="0"> <tr><td>はい</td><td>0 診療所</td></tr> <tr><td>いいえ</td><td>2 診療所</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0 診療所</td></tr> <tr><td>未回答</td><td>15 診療所</td></tr> </table> }	はい	0 診療所	いいえ	2 診療所	その他	0 診療所	未回答	15 診療所
はい		0 診療所							
いいえ		2 診療所							
その他		0 診療所							
未回答	15 診療所								
実施症例数（同種血併用例）：0 例（0 例）	【0 例（0 例）】								
採血量（貯血量）：0 単位	【0 単位】								
使用量（輸血量）：0 単位	【0 単位】								

X 血漿分画製剤使用状況について

アルブミン製剤合計：1,098.1 g	【590.3 g】
フィブリノゲン製剤合計：0.0 g	【3.0 g】

XI 外来輸血および在宅輸血について

(1) 外来輸血または在宅輸血実施	{ <table border="0"> <tr><td>外来輸血</td><td>11 診療所</td></tr> <tr><td>在宅輸血</td><td>0 診療所</td></tr> <tr><td>どちらも実施なし</td><td>6 診療所</td></tr> </table> }	外来輸血	11 診療所	在宅輸血	0 診療所	どちらも実施なし	6 診療所
		外来輸血	11 診療所				
		在宅輸血	0 診療所				
どちらも実施なし	6 診療所						

(2) 外来輸血後の患者観察	{ <table border="0"> <tr><td>医療関係者</td><td>10 診療所</td></tr> <tr><td>医療関係者・</td><td></td></tr> <tr><td>患者家族</td><td>1 診療所</td></tr> <tr><td>未回答</td><td>6 診療所</td></tr> </table> }	医療関係者	10 診療所	医療関係者・		患者家族	1 診療所	未回答	6 診療所
		医療関係者	10 診療所						
		医療関係者・							
		患者家族	1 診療所						
未回答	6 診療所								

(3) 外来輸血または在宅輸血を実施している患者の主な診療科

{ <table border="0"> <tr><td>血液内科</td><td>0 件</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>2 件</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>1 件</td></tr> <tr><td>その他</td><td>8 件</td></tr> </table> }	血液内科	0 件	消化器内科	2 件	循環器内科	1 件	その他	8 件
	血液内科	0 件						
	消化器内科	2 件						
	循環器内科	1 件						
その他	8 件							

(4) 疾患名・人数	血液疾患	: 1 件 (1 人)
	腎疾患	: 6 件 (40 人)
	悪性腫瘍	: 1 件 (4 人)
	消化管出血	: 1 件 (2 人)
	その他	: 1 件 (17 人)

(5) 使用されている製剤の種類	赤血球製剤	: 313 単位
	凍結血漿製剤	: 0 単位
	血小板製剤	: 0 単位

(6) 実施中または実施後の有害事象発生：0 診療所

(7) 外来輸血に対応した有害事象発生時のマニュアル：3 診療所 (17.6%) 【4 診療所 (21.1%)】

(8) 外来輸血実施後の院内での休憩時間

{ <table border="0"> <tr><td>30分未満</td><td>2 診療所</td><td>【2 診療所】</td></tr> <tr><td>30分以上1時間未満</td><td>3 診療所</td><td>【3 診療所】</td></tr> <tr><td>1時間以上2時間未満</td><td>3 診療所</td><td>【5 診療所】</td></tr> <tr><td>2時間以上</td><td>1 診療所</td><td>【1 診療所】</td></tr> </table> }	30分未満	2 診療所	【2 診療所】	30分以上1時間未満	3 診療所	【3 診療所】	1時間以上2時間未満	3 診療所	【5 診療所】	2時間以上	1 診療所	【1 診療所】
	30分未満	2 診療所	【2 診療所】									
	30分以上1時間未満	3 診療所	【3 診療所】									
	1時間以上2時間未満	3 診療所	【5 診療所】									
2時間以上	1 診療所	【1 診療所】										

(9) 外来輸血が必要とされる患者の紹介先が予め決まっている：4 診療所 (23.5%) 【3 診療所 (15.8%)】

(10) 輸血のみを診療目的とする患者の受入：1 診療所 (5.9%) 【1 診療所 (5.3%)】

XII 製剤別購入量・廃棄量について

	購入量 (単位)	廃棄量 (単位)	廃棄率 (%)
赤血球製剤	923	18	1.9
血小板製剤	0	0	0.0
血しょう製剤	22	4	15.4